

# おぐら



2026

7

No. 861

● 広報



## 白い森を照らす “おしどりさん” ③

佐藤孝典さん・理沙さん夫妻（北）は、長男の凜太郎さんと長女の稜香さんの日々の成長を楽しみながら生活を送っています。

2人のお子さんは孝典さんの町内の実家に行って遊ぶことが大好きです。「ふだん外で思いっきり遊ばせる機会が少ないので、子どもたちもいつも実家に来ると楽しそうにしています。」と孝典さん。長井市出身で結婚を期に移住した理沙さんは「小国では子育ての相談ができるかたが多くてとても助かっています。これからも子どもたちには小国の自然の中で成長して行ってほしいと思います。」と笑顔で話してくれました。

# 観光わらび園

## 開園から 50 年

～全国初の取組みの足あととこれからの方向～

祝 開園 50 周年  
観光わらび園発祥の地 樽口観光わらび園

第1回全国山菜文化産業祭 主催 山菜文化産業協会 小国町 樽口観光わらび園 後援 林野庁 山形県

調理棟  
管理人以外  
立入禁止

本町樽口地区において、全国初の「観光わらび園」が開園してから今年で50年を迎えました。今では全国でも有数の生産量を誇る本町のわらびのブランド化には、樽口観光わらび園が重要な役割を果たしているといえます。

今回は樽口観光わらび園の開園当時の様子やこれからめざす姿を紹介するとともに、わらびの販路拡大や情報発信などさらなるブランドの向上に向けた、今後の取組みについて考えます。



樽口観光ワラビ園で行われる山焼き（令和4年5月撮影）

### 観光わらび園50周年

本町が持つ貴重な地域資源であるわらび。林野庁がとりまとめた最新のデータによれば、令和6年度の全国におけるわらびの生産量は596トンで、うち、山形県が占める割合は28

2・7トンと約半数を占め、全国第1位という結果となりました。そのうち、本町のわらび生産量について見ると、令和6年度のデータでは143・4トンとなっており、生産量第1位の山形県の半数以上を占めていることから、本町が日本一のわらびの生産量を誇っていることが、データからも読み取ることができま

す。本町の特産品であるわらびを観光資源として活用しようとして、今年からちょうど50年前の昭和51年に、本町で全

国初となる観光わらび園の「樽口観光わらび園」が開園しました。広大な山林を利用して、草刈りや山焼きなどの生育環境の整備を行うことで、観光客に対し有料で開放する「観光わらび園」として、地域が主体となつて取組んだものです。

その後、町内外に数多くの観光わらび園が開園し、多くの観光客が訪れる交流スポットとして脚光を浴びるようになりました。このことから、「観光資源」としてのわらびの付加価値の創出は本町が先駆けて始めたものであるといえます。実際に本町のわらびは、水や山林といった自然資源に恵まれていることに加え、最盛期の春の気候は寒暖差が大きいことから、わらびの品質に直結する粘りと太さがあるものが多いとされており、全国的なブランド価値を有しています。

特集 観光わらび園開園から50年 ～全国初の取組みの足あととこれからの方向～

50年のあゆみと  
これから

全国初の観光わらび園である樽口観光わらび園が開園し半世紀が経ちました。開園当時、樽口地区総代をされていた渡邊正義さん（樽口）は「観光わらび園開園のきっかけは、稲作に代わる収入源の確保を考えていたときに、初期費用を抑えられて自生するものに着目しました。そこで、大きな山に少し手を加えてわらびを育ててその中に観光客を呼んでみたらどうだろうかという発想でした。当時は山に人を入れて採取させるという文化はなかったことから、挑戦的な試みでした。当初は10年続けばいいだろうと考えていましたが、行政や地域の住民のかたが一体となった協力体制もあり、50年という節目を迎えることができました。わらび園

の運営はその時期の流行を取り入れたイベントを開催しながら、数多くの観光客にお越しいただきました。こうしたことから樽口地区としても、町全体としてもわらび園の収入はとても大きなものであったと感じています。これまで私たちはわらび園に支えられてきました。一方で、わらび人気の低下や高齢化などにより、今後わらび園をどのように運営していくかという局面を迎えています。私たち



▲樽口観光わらび園の開園に尽力された渡邊正義さん

してはこれまで支えてもらったわらび園を、今後は支える側として、引き続きわらび園の整備活動や情報発信などを続けていきたいと考えています。」とお話いただきました。観光わらび園は、地域が一体となって管理・運営を行い、観光客の呼び込みや、収入の確保などといった地域活性化につながっていった経緯等からも、本町や地域にとって、これまでも大きな役割を果たしてきたといえます。

魅力を広げる

一方で、本町の一つのブランドとしても機能しているわらびについては、生産者が採取を行い、その後どのような販路によって販売していくのか、そしてわらびの魅力・ブランドをどのようにして発信していくのか等といった、現在におけ

る重要な課題もあります。生産者からわらびを集荷し、販売を行っている小国町森林組合の佐藤奈美さんは「現在のわらびの販売先としては、往復ハガキを利用した注文や森林組合直売所での販売などが主流となっています。購入いただいているかたはリピーターであることが多く、新潟県や福島県など県外のかたからも数多く購入いただいております。高い評価を得られていると感じています。一方で、わらび



▲COOP桜田店で開催された小国町フェアでのわらび販売

特集 観光わらび園開園から50年 ～全国初の取組みの足あととこれからの方向～



▲「たまがわ春の山菜まつり」での山菜料理等の販売



▲「白い森イベント春まつり」でのあく抜き講習会の様子

独での販売活動は人的、経済的負担が大きいことから、このような共同販売はこれから継続して行い、販路拡大を図っていききたいと考えています。また、今回は生わらびを販売しましたが、お客さまから加工わらびも販売してほしいという声をいただいたので、加工での販売の拡大もあわせて考えていく必要があるのではな

いかと思っております。」と現在のわらびの販路と今後の拡大に向けてお話ししていた

ブランドをつなぐ

また、団体や地域ごとで山菜をPRする取組みも積極的に行われています。5月24日には、白い森イベント実行委員会主催の「白い森イベント春まつり」が開催され、わらび等山菜の販売に加え、わらびのあく抜き講習会が行われ、多くの方が参加し、盛り上がりを見せていました。このほか、同日に東部地区において「東部地区山菜まつり」が、玉川地区において「たまがわ春の山菜祭り」がそれぞれ開催され、地区で採れた山菜の販売や山菜を使った食事の提供等が行われました。

本町のわらびは、これまでも多くのかたたちに支えられ、受け継がれることで

そのブランドを創出し、守ってきました。一方で、生産者の高齢化、地区外への転出等による収量の減少や山焼きといった生育環境整備を行う人材が不足しており、ブランドの継承が大きな課題となっています。こうした中、農山村や地域文化に関心がある学生や若者などと一緒に作業を行い、その

関係性を構築し、継続すること、すなわち「協働人口」による取組みが重要であります。町では、わらびに代表される観光資源を活用したイベントの開催や情報発信を継続するとともに、協働人口の創出に向けて、「多様な主体との協働によるまちづくり事業」として、首都圏の大学生の本町への合宿や、企業の本町での研修活動等を通して、本町が持つブランドを学び、今後、協働人口として継承していく人材の確保に努めていきます。



## 小国中学校大運動会開催 雨を吹き飛ばす熱戦を繰り広げる

小国中学校大運動会が、5月29日に町民総合体育館で行われました。

当日は、降雨によりグラウンドの状況が悪化したことから屋内での開催となりましたが、赤と青それぞれのチームに分かれ、優勝を目指して競技や応援合戦で競いました。

特に、各学年で行われた団体種目では、同じ学年・組で協力し、声をかけあったりアイコンタクトをとったりしながら、勝利に向け全力で競技に取り組んでいる様子がみられました。



▲1年生団体種目の様子

## 小国町消防演習・消防庁長官表彰 長年の消防活動への感謝が伝えられる

6月7日、小国町消防演習が行われ、昨年に全国女性消防操法大会に出場し見事優良賞を受賞した小国町女性消防団による放水訓練や総合センターを出火建物と想定した火災防ぎょ訓練が行われました。

また、各表彰の伝達では、消防庁長官表彰として長年の功労が認められ、第2分団部長の毛利一博さん（岩井沢）と第4分団部長の伊藤一彦さん（西）が永年勤続功労章を受章されました。



第2分団部長 毛利一博氏（永年勤続功労章・左から3人目）  
第4分団部長 伊藤一彦氏（永年勤続功労章・左から2人目）

## 小国小学校5年生白い森づくり体験事業 「白い森おぐに」を間近で体験

6月11日、「白い森づくり体験事業」の一環として、小国小学校の5年生39人が、町民の森での伐倒・玉切り作業見学と、しいたけの菌を原木へ打ち込む駒打ち体験を行いました。

駒打ち体験では、かなづちを上手に使いながら、真剣な表情でしいたけの菌を打ち込んでいる様子が見られました。児童からは「きのこは植物ではなく菌であることを初めて知りました。自分で菌を打ち込むことでより森づくりについて学ぶ事ができました。」と感想を話していました。

その後、置賜森林管理署のかたから森林の機能や役割についての講話が行われ、児童たちは森林の大切さをあらためて認識していました。



▲真剣な表情でしいたけの駒打ちを行う

## 小国高校 岩手県大槌町産品販売実習 復興への思いを形にして

6月15日に道の駅白い森おぐに、16日に白い森ショッピングセンターアスモ及び役場において、小国高校生による岩手県大槌町産品販売実習が行われました。

これは、本年4月に発生した山林火災により大きな被害を受けた大槌町の復興支援のために実施され、売上の1割が支援に充てられました。実習では産品のサーモンの缶詰や鹿肉を使った商品が販売され、生徒たちは、商品を紹介しながら、買い物に訪れたかたと交流していました。



▲道の駅白い森おぐにでの販売の様子

## 第1回育苗コンクール表彰式 生産者間で技術を競い高める

白い森おぐに『がっちり儲ける米づくり』運動第1回育苗コンクール表彰式が、6月16日に役場で開催されました。

このコンクールは、生産者が日頃培っている育苗技術に光を当て、互いに学び合い、さらなる技術向上につなげてほしいとの思いから、今年度初めて行われました。審査の結果、最優秀賞には舟山祥平さん（若山）が、優秀賞には佐藤義昭さん（舟渡）がそれぞれ選ばれ、小国町農作物生産振興協議会会長である仁科町長より賞状と賞品が手渡されました。



## 米坂線を応援しよう 「駅舎で乾杯」 夜の駅舎に賑わいが戻る

6月19日、駅舎で乾杯実行委員会が主催する、米坂線を応援しよう「駅舎で乾杯」が小国駅を会場として開催されました。

当日は、町内外から約70人が参加し、駅舎の雰囲気を楽しみながら会話や飲食を楽しんでいました。また、音楽ユニット「風とたんぽぽ」による歌唱パフォーマンスも行われ、大いに盛り上がりました。参加したかたからは「通学で米坂線を利用していました。久しぶりにホームを見て懐かしい気持ちで楽しむことができました。」とお話いただきました。



# 挑め、ともに！

小国高校魅力化通信 55

## 「地域に浸る講座」を開催

5月21日(木)と6月18日(木)に、1年生「地域文化学」の授業にて「地域に浸る講座」が行われました。この講座は、町内で活躍しているさまざまなジャンルのかたの姿に学ぶ授業です。

第1回は川崎小動物病院の川崎恵さん、つる細作家の柳沢茜さん、齋藤弥輔さんに、第2回は森林セラピーアテンドの横山信一さん・佐野礼子さん、民宿奥川入の皆さま、舟山真人さんにお話をうかがいました。



### 〈生徒の声〉

「まだ将来のことは漠然としていても、これから色々なことを経験し、自然とやりたいことに出会うと聞き、今しかできないことを経験し、成長につなげることが大事だと思います。」

「山とともに生きるのはとても素敵で楽しそうだと感じました。一方で、お話を聞いていると大変そうなお話も多く、憧れはあるものの、自分にはできるのだろうかと思いました。」

## 協力隊通信

series 117

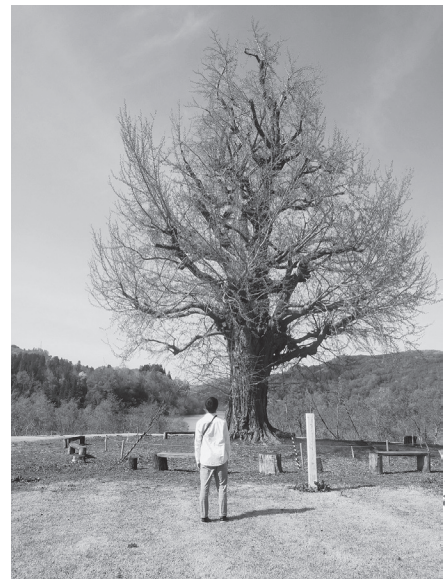
「夏」！

地域おこし協力隊 みやざき りく 宮崎 陸

とうとう本格的に暑くなってきました。道の駅でのイベントや観光施設オープンにむけた仕事が終わりと、家に帰ると「蒸し暑いなあ」と思うようになり、夏の訪れを感じています。

私が初めて小国町に来たのは2023年5月でした。小国に移住することは気持ちでは決めていましたが、小国町がどんな場所なのかよくわからなかったので下見の意味も含め訪れました。5月ということもあり熊まつりも初めて見ましたし、まだ残雪があったことが今も記憶に残っています。それからあっという間に3年が経ちました。

協力隊の任期も残りわずかですが、任期満了までしっかりと活動し小国町を楽しもうと思います！



## 令和8年 第5回 小国町議会定例会

令和8年第5回定例会が6月4日から11日まで開催されました。令和8年度一般会計補正予算など22件が審議され、原案のとおり可決されました。主な内容は次のとおりです。

### 一般会計に

#### 2億4677万6千円を追加

融雪後に確認された施設等の破損修繕や、中東情勢の緊迫化に伴う物価上昇などの影響による委託料を追加するほか、年度当初の人事異動に伴う職員人件費、会計年度任用職員報酬等の調整を行うなど、一般会計に2億4677万6千円を追加し、補正後の予算総額は68億6120万円となりました。

#### 次期総合センターオープン

##### 記念イベントの開催

現在、建設を進めている次期総合センターオープン記念イベントについて、町が直接実施す

ることとし、経費の組み換えを行いました。また、竣工式における記念品を製作することとし、製作に要する経費を追加しました。

#### 町内農家への支援

地域農業の担い手として、持続的な農業経営の確立を目指す新規就農者に対し、創農チャレンジ給付金を支給することとしました。また、県の地域農業構造転換支援事業を活用し、地域農業の中核となる担い手農業者の経営改善に必要な農業機械の導入を支援することとし、これに要する経費を追加しました。

#### 高校魅力化の新たな取組みと

##### 教育DXのさらなる推進

県立小国高等学校の留学受入事業について、一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォームとの協働による、小国高校に特化した募集イベントを都内で

開催することとし、これに要する経費を追加しました。また、昨年度に引き続き、教職員の校務作業において、生成AIによる効率化を図ることを目的とする、文部科学省の「生成AIパイロット校事業」に採択されたことから、教育DXの推進に向けた実証事業を実施します。

#### スクールバスの購入

本町小・中学校の児童生徒等を送迎する29人乗りスクールバス1台を取得することとし、売買について2事業者による見積合わせの結果、891万4千57円で山形トヨタ自動車株式会社米沢店に落札決定し、これに消費税等を加えた980万円で契約を締結しました。

#### 白い森おぐに総合文化センター

の設置及び管理に関する条例の設定について

現在建設中の(仮称)小国町

次期総合センター建設事業について、完成後の開館に向け、公の施設としての適正な位置づけと管理運営を行うため、設置及び管理に関する条例を設定しました。なお、新施設の名称については、長い間、町民に親しまれてきた「センター」という響きを残し、「白い森おぐに総合文化センター」と命名することとしました。

#### 小国町農業委員会委員の任命

農業委員会委員の任期満了に伴う人事案件が提案され、次のかたの任命について同意されました。

- 横山 隆藏氏(小玉川・再任)
- 金 敦子氏(小渡・再任)
- 山口 満氏(大石沢・再任)
- 舟山 孝夫氏(若山・再任)
- 小嶋 剛氏(町原・再任)
- 大谷 健人氏(西・再任)
- 安部 茂氏(小股・再任)

## 地域支え合い講座開催のご案内

高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を継続できるよう、高齢社会の現状や高齢者の生きがいづくりや支え合い活動等の必要性について学び、理解を深める入門講座を開催します。

- 対象 生きがいづくりや地域の支え合い活動に関心のあるかた
- 受講料 無料（入場整理券が必要です）
- 日時 7月26日(日) 13時～16時
- 会場 遊学館（山形市緑町1-2-36）またはオンライン
- 内容 講演1『暮らしのヒントは「楽しみ」から ～人生100年時代をより豊かに暮らそう～』  
講師：菅原育子氏（武蔵野大学ウェルビーイング学部ウェルビーイング学科教授）  
講演2『今日からできる！毎日の“ちょい足し”健康習慣』  
講師：清野諭氏（山形大学 Well-Being 研究所行動科学部門助教）
- 申込・問合せ先  
（公財）山形県生涯学習文化財団／山形県生涯学習センター（☎023-625-6411）へ

## 生活道路における自動車の法定速度の引き下げについて

9月1日(火)から、生活道路(※)における自動車の法定速度が60km/hから30km/hに引き下げられます。  
(※)生活道路：主に地域住民の日常生活に利用されるような中央線などがない道路です。

### ○ドライバーの皆さまへ

決められた速度の範囲内であっても、路面や交通の状況、天候状況に応じた安全な速度での運転に心掛けてください。

- 問合せ先 県警察本部交通部交通規制課（☎023-626-0110）へ

## 危険物取扱者試験準備講習会のご案内

- 日時 「乙種第4類」：9月16日(水)及び9月17日(木) 9時30分～16時30分  
※講習会は2日間となっております。
- 会場 長井市民文化会館（長井市館町北5番10号）
- 申込期間 8月3日(月)～8月31日(月) ※先着順
- 講習会案内及び申込書の配布場所 西置賜行政組合消防本部、消防署、各分署
- 問合せ先 西置賜行政組合消防署小国分署（☎62-2154）へ



## 令和7年国勢調査 速報結果

町の人口は6,138人、世帯数は2,646世帯（令和7年10月1日現在）

昨年10月に実施した国勢調査の結果、前回調査の令和2年と比べると、人口は969人の減少（13.6%減）、世帯数は164世帯の減少（5.8%減）となりました。また、一世帯あたりの人員は2.32人で、令和2年の2.53人と比べ0.21人の減少となりました。

区分 調査年	人口	世帯数	対前回調査比	
			人口	世帯数
平成27年	7,868	2,845	-11.2%	-6.3%
令和2年	7,107	2,810	-9.7%	-1.2%
令和7年	6,138	2,646	-13.6%	-5.8%

注1) この結果は、令和8年5月29日に総務省統計局が公表した人口速報集計であり、今後、公表される数値と異なる場合があります。

注2) 「一世帯あたりの人員」は、総人口を総世帯数で割った数値です。

## 令和9年度採用 小国町職員を募集します

### ■職種

- ① 上級行政（大卒程度）
- ② 初級行政（高卒程度）
- ③ 初級土木（高卒程度）
- ④ 看護師
- ⑤ 薬剤師

### ▽移住枠

- ⑥ 初級行政
- ⑦ 初級土木

（農業土木・土木）

### ■募集人員 各若干名

### ■受験資格

- ① 昭和61年4月2日から平成17年4月1日までに生まれたかたで、大学を卒業・卒業見込みのかた
- ②・③ 平成13年4月2日から平成21年4月1日までに生まれたかたで、高校を卒業・卒業見込みのかた

- ④ 昭和51年4月2日以降に生まれたかたで、看護師資格を有し交代勤務が可能なかた（令和9年3月までに資格取得見込みのかたを含む）
- ⑤ 昭和51年4月2日以降に生まれたかたで、薬

剤師資格を有するかた

（令和9年3月までに資格取得見込みのかたを含む）

### ▽移住枠

昭和56年4月2日から平成13年4月1日までに生まれたかたで、本町に移住しようとするかた

⑥ 行政機関・民間企業等で5年以上の実務経験があるかた

⑦ 行政機関・民間企業等で農業土木または土木関連部門で5年以上の実務経験があるかた

### ■試験内容

#### ▽第1次試験

- ①・⑥・⑦ SPI3（性格検査、基礎能力検査）
- ② 教養試験、職場適応性検査、作文試験
- ③ 教養試験、専門試験、職場適応性検査、作文試験
- ④・⑤ 職場適応性検査、作文試験

#### ▽第2次試験

第1次試験合格者を対象に、面接試験等を行います。

### ■試験日および会場

#### ▽第1次試験

- ①・⑥・⑦ 9月4日（金）15日（火） 受験者の自宅PC等（インターネット試験）
- ②・⑤ 9月20日（日）

小国町役場

#### ▽第2次試験

10月中旬～下旬

小国町役場

### ■募集期間

- ①・⑥・⑦

7月1日（水）～8月19日（水）

②・⑤ 7月1日（水）～8月5日（水）

### ■受付時間および場所

午前8時30分～

午後5時15分

総務企画課行政管理担当へ提出してください。

### ■募集要項・申込書配布場所

小国町役場、健康管理センター他、または町ホームページからダウンロード

### ■問合先

総務企画課行政管理担当（☎62-2112）へ



## 小国中学校生徒会から緑の羽根募金を寄付いただきました

小国中学校（安部行史校長）の生徒会執行部が中心となって緑の募金活動を展開し、集まった募金12,978円を6月2日に仁科町長に手渡しました。

緑の募金は、緑の羽根募金として昭和25年に始まり、集まった募金はNPO法人などを通じて国内外の森林づくりや人づくりをはじめ、町内の各学校の緑化活動などさまざまな取り組みに充てられています。生徒会に所属する生徒は「私たちの思いを多くの事に役立ててほしい」と話していました。



## お知らせ

### 町営住宅入居者募集

①小坂町団地  
3DK 3戸

(3階、4階)

- ◎対象 世帯状況に応じた所得制限あり
- ◎家賃 所得により決定
- ◎敷金 家賃の3カ月分
- ◎募集期限 7月10日(金)
- ◎入居時期 8月上旬以降
- ◎問合先 地域整備課建設管理担当 (☎62-2431)へ

### 山形県警察官募集

#### 試験区分

警察官B (大卒以外)

■受験資格 平成3年4月2日から平成21年4月1日までに生まれたかたで、次の①と②のいずれにも該当しないかた

- ①大学(短期大学を除く)を卒業または令和9年3月31日までに卒業見込みのかた
- ②県の人事委員会等が、①と同等の資格があると認められた

■受付期間 7月10日(金)～8

月24日(月)

■第一次試験日 9月20日(日)

■申込・問合先 小国警察署

(☎62-0110)へ

※内容を変更することがあります。

### 特定金属くず買受業の届出義務化について

#### 盗難特定金属製品物の処分の防止等に関する法律が本年6月1日に全面施行され、特定金属くず買受業(主として銅からなる金属くずの買受けを行う営業)を営むかたは、その営業所ごとに、氏名、住所等を当該営業所の所在地を管轄する都道府県公安委員会に届出しなければなりません。

法律が施行される令和8年6月1日時点で、既に特定金属くず買受業を営んでいるかたは、3か月の経過措置が設けられているため、8月31日まで届出する必要があります。

特定金属くず買受業を営むかたは、営業所を所管する警察署にお問い合わせください。

■問合先 小国警察署生活安全係 (☎62-0110) または県警察本部生活安全企

画課(☎023-626-0110)へ

### 県立夜間中学校 学校説明会

【置賜地区会場】

令和9年4月に新しく開校する夜間中学校に入学を希望するかたに対し、教育内容・学習環境・入学制度についての説明会を行います。

■対象 夜間中学に入学を希望するかたや、その家族等

#### 日時

7月22日(水) 18時30分～

#### 場所

置賜総合文化センター201研修室(米沢市金池3丁目1-14)

#### 申込・問合先

山形県教育局義務教育課多様な学び推進室(☎023-630-2407)へ

### 令和9年度山形県町村会職員採用試験

#### 職種 一般事務

#### 採用予定日

令和9年4月1日

#### 採用予定人数 若干名

#### 試験日 8月2日(日)

■試験会場 山形県自治会館

■受験資格 昭和62年4月2日以降に生まれたかたで、

大学を卒業したかた、または令和9年3月31日までに卒業見込みのかた、普通自動車運転免許を有するかた

■受付期間 7月22日(水)まで

※受験案内及び受験申込書は山形県自治会館1階窓口で配布、または山形県町村会ホームページよりダウンロード

■問合先 山形県町村会事務局(☎023-631-5155)へ

「がんサロン「クローバー」のお知らせ」

ピア(仲間)や、がん相談員と想いを語り合っ場です。

#### 日時

7月22日(水)

13時30分～15時

■場所 米沢市すこやかセンター

■対象者 がん経験者およびそのご家族

■問合先 米沢健診センター(☎0238-21-8811)へ

※申込は不要です。

## 生協（COOP）による移動販売（試験運用）が始まります！

令和7年8月に生活協同組合共立社と県内初の包括連携協定を締結し、高齢者や子育て家庭に対する見守りや買い物支援、災害時対応などにおいて協力していくこととしました。今回、中山間地域の買い物に不自由な高齢者等に対する支援として、生協（COOP）による移動販売を試験的に開始することとなりましたので、ぜひこの機会にご利用ください。

### ○運行スケジュール

- 運行日 7月3日(金)から8月28日(金)までの毎週金曜日 ※試験運用となります。
- 対象地域 北部及び南部地域を中心とするエリア  
※詳細な対象地域及び駐車場所は7月の隣組回覧でご確認ください。
- 停車時間 各エリアにて15分から20分程度
- 販売方法 現金のみの取り扱いとなります。
- その他 7月及び8月の試験運用を踏まえて、9月からの本格運用を検討していきます。試験運用中はお不便をおかけすることもあるかと思いますが、何とぞご理解いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。
- 問合せ先 産業振興課商工労働政策担当（☎ 62-2416）へ



## 令和8年度小国町危険空家等除却支援事業補助を行っています

町内に所在する「危険空家」を解体する工事費用について補助を行っています。

※危険空家とは、「特定空家」かつ「町が実施する不良住宅の評点で、合計点数が100点以上になった住宅」の物件を指します。

※車庫や小屋、物置は対象外です。

補助金の額は、「補助対象経費×2分の1」で得られる金額または50万円のいずれか低い額です。

補助対象経費は、補助の対象となるかたが発注する敷地内の危険空家すべてを解体する工事で、解体、撤去、運搬、処分の工事経費です。なお、家具や家電製品の処分費用や立木の伐採費用等は補助対象外です。

申請は、必ず解体工事の前に行っていただく必要があります。また補助金は、申請されたかたが工事代金を支払いし終えた後に交付いたします。

詳しい内容は、町ホームページまたは町民課危機管理担当（☎ 62-2261）へお問い合わせください。

## 保健カレンダー

### 1. 各健診の日程等

#### ■3歳児健診

- ・期 日 8月7日(金)
- ・受付時間 12:30～13:00
- ・対 象 R4年11月、12月生まれ  
R5年1～3月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他 母子健康手帳を持参ください。

4. 問合先 健康管理センター（☎ 61-1000）へ

## \*子育て支援センターから\*

### ■7月の広場日程

	曜日・日時	時間	申込
あそびの広場	7/11(土) 7/25(土)	9:00～11:30・13:00～16:00 場所:健康管理センター	不要
なかよし広場	月～金	9:00～11:30・13:00～16:00 場所:アスモ内または健康管理センター	不要
子育て講座	エアロビクス	7/11(土)10:00～11:30・健康管理センター	要

■対象者 就学前のお子さんとお家のかた

#### ■利用時の注意点

体調の悪い場合は、利用できません。

#### ■その他

お気軽にご参加ください。平日はいつでも子育て相談に応じています。

■問合先 子育て支援センター（☎ 090-9015-8330）へ

## 今月の納税 2026.7

7月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

#### ●7月27日(月)

水道料、下水道料、簡易水道料

#### ●7月31日(金)

固定資産税、国民健康保険税・後期高齢者医療保険料  
介護保険料、住宅使用料、児童福祉使用料

#### ■問合先

税務課税政管理室（☎ 62-2403）へ

## 求 人 情 報

町ホームページにおいて、小国町をおもな就業先としている求人情報を毎週火曜日に更新しています。下記の二次元コードよりご覧ください。

既に雇用が確定している場合もありますので、ご了承ください。求人情報の詳細については、ハローワーク長井（☎ 84-8609）へお問い合わせください。



◀ホームページはこちらから

### 入札結果情報（令和8年5月21日～令和8年6月20日実施）

単位(円)

入札日	工事・事業名	施行場所	工期(完了)	予定価格	落札業者	落札価格
R8.6.5	小学校学習者及び指導者用端末購入	小国小坂町地内	R8.10.30	30,702,000	㈱管理システム山形本部	27,090,000
R8.6.10	令和8年度 町道区画線補修工事	町道指定路線	R8.8.7	2,810,000	㈱石川	2,750,000
R8.6.16	令和7年度繰越 社会資本整備総合交付金事業 町道西田沢頭線門前橋護岸改良工事	田沢頭地内	R9.3.24	44,490,000	山和建設㈱	43,300,000
R8.6.16	令和8年度 小国町水道事業 上水道排水管路更新工事	小国町地内ほか	R8.12.25	59,970,000	小国開発㈱	59,500,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。



- 小国町役場 代表(総務企画課) ☎ 62-2111 (代) fax62-5464
- 企画財政室/次期総合センター建設推進室 ☎ 62-2264
- 会計室 ☎ 62-2406
- 行政管理室 ☎ 62-2112
- 白い森ブランド戦略室 ☎ 87-0821
- 農林振興室 ☎ 62-2408
- 観光交流推進室 ☎ 62-2416
- 町民生活担当/危機管理担当 ☎ 62-2261
- 税政管理室 ☎ 62-2403
- 住民窓口室 ☎ 62-2260
- 建設技術室 ☎ 62-2432
- 議会事務局 ☎ 62-2448
- 建設管理室 ☎ 62-2431



## 戸籍のまど

( 5 月 届 出 分 )

おくやみ申し上げます。

- 伊 佐 領 井 上 セエ子 (84)
- 五 味 沢 齋 藤 廣 實 (77)
- 五 味 沢 齋 藤 藤 彦 (84)
- 北 舟 山 隆 司 (88)

※この欄に掲載を希望しないかたは、届出の際にお申し出ください。

### 人口のうごき (令和8年5月31日現在)

- 人口 男・・・3,110人 (-9)
- 女・・・3,042人 (-7)
- 計・・・6,152人 (-16)
- 世帯数 2,821世帯 (-6)

### 編集後記

先月20日に、東北南部も梅雨入りしたと発表がありました。この時期は湿度が高くムシムシした体感になるので、体調管理には十分気を付けていきたいですね。

先日、東京出張に行った際に学生時代の友人と会う機会がありました。いつもの他愛のない話から始まったのですが、気付いたら将来についての話で盛り上がっていました。思わぬところで時の流れを感じる時間となりました。次に会った時はどんな話をしているんだろうと考えると楽しみでもあり少しドキドキした出張の帰り道でした。(舟山)

## 7月の おぐにスポーツイベント 「運動で健康サプリ」



- 日 時 7月25日(土) 10:00～11:00
  - 場 所 小国町民総合体育館
  - 内 容 「リズムで楽しくバランスボール①」
  - 参加費 500～750円
  - 持ち物 タオル・飲物
  - 申込締切 7月22日(水)
- ※バランスボールは無料でお貸しします(先着順)。

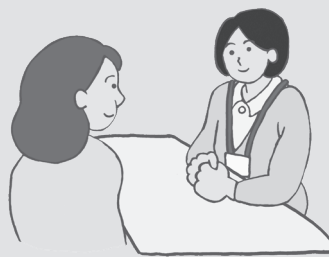
■申込・問合せ先 (☎ 62-5808) へ



## 相 談

### ・年金相談

- 日 時 8月19日(水) 10:30～13:30
- 場 所 役場2階 町民相談室
- 対応者 米沢年金事務所職員
- 問合せ 米沢年金事務所 (☎ 0238-22-4220) へ



## 有料広告募集中 「広報おくに」に広告を載せてみませんか

毎月1回(3500部、1日発行)

### ■サイズ

- 1種 横 8.7cm×縦 5.3cm
- 2種 横 17.85cm×縦 5.3cm
- 3種 横 17.85cm×縦 11.5cm

※このサイズは2種広告になります。

■金額(1回あたり) 1種 6,000円 2種 10,000円 3種 30,000円

※掲載に関する詳細については、お問合せください。

■問合せ 総務企画課政策企画担当 (☎ 62-2264) へ

気になったかたはこちらをチェック!!



# ドローンがみた、 おぐにの風景

No.67



## ⑥7 大集落の姿を今も残す大石沢地区（上大石沢）

大石沢地区が形成された時期については分かりませんが、『小国の交通』（小国町誌編集委員会編 1996年）によれば、安土桃山時代である文禄4年（1595）年には、小国の中でも大きな集落であったとされています。当地区には、中津川（飯豊町）方面を結ぶ九才峠があり、越後街道の支道として多くの人や物の往来があったともいわれています。

撮影当日は、空をくっきりと映す一面の水田に青い苗が植えられ、これからの成長を待ち望む時期の訪れを感じました。大集落であった500年前も地区の食を支えていた田んぼが、今も同じように地区の食を支えています。